

蔦重、圧巻。 大・中・小

～書型にみる蔦重版
(五館連携展示「蔦重手引草」)

展示期間 2025年10月1日(水)～11月28日(金)

開館時間 10時～16時30分

休室日 土・日・祝・第4水

場所 国文学研究資料館1階展示室(東京都立川市緑町10-3)

入場
無料

特設ページ



江戸時代の書籍の書型(しよけい)には規格があり、主として大きい順から、大本(おおほん)・半紙本(はんしほん)・中本(ちゅうほん)・小本(こほん)の4書型があります。書型と内容には密接な関係があり、原則として大きさに比例して書籍としての格も上がっていきます。本展示では、蔦屋重三郎が出版した書籍を、こうした書型ごとに「大・中・小」のケースに分けて展示してみました(半紙本と中本を「中」の部として扱う)。大きさの違いを実感してみてください。



『銀世界』(国文学研究資料館所蔵)